

# 令和 2 年度第 1 回ビジョン会議

～ 北はりま定住自立圏共生ビジョン ～



令和 2 年 8 月 2 7 日  
西脇市次世代創生課

# 1 定住自立圏構想 について

---



# 定住自立圏構想の概要

- 日本全体において、人口減少や少子高齢化が進んでおり、この影響は、都市圏よりも地方圏において、より顕著になるとされています。
- これらの状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。
- 定住自立圏構想は、総務省が中心となって進めている取組で、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るために必要な生活機能を圏域全体で確保し、地方圏への定住を促進する政策です。

## 定住自立圏のイメージ



# ■ 定住自立圏構想の概要

- 西脇市（中心市）と多可町（近隣町）で形成する「北はりま定住自立圏域」は、加西市・加東市を中心市とする「北播磨広域定住自立圏域」に包含されます。
- 2つの圏域特性を踏まえ、協定項目や連携事業の棲み分けを行い、共生ビジョンに基づく事業をそれぞれの圏域で推進しています。
- 北播磨広域定住自立圏では、スケールメリットを生かした事業（医療、観光、自治体クラウドの検討、北はりま消防など）を実施し、北はりま定住自立圏では、西脇多可行政事務組合による斎場業務や北播磨清掃事務組合によるごみ処理業務をはじめ、医療、福祉など、これまでからの繋がりによる事業を実施し、住みやすい圏域形成を目指しています。

## 【北はりま定住自立圏と北播磨広域定住自立圏の関係】

### 北播磨広域定住自立圏



## 2 北はりま定住自立圏構想の概要

---





# ■ 北はりま定住自立圏構想の概要

- 自治体が相互に連携・協力して、圏域全体で暮らしに必要な機能を充実・確保し、圏域の住民がより快適に暮らすことのできる定住自立圏を創造していきます。



- 中心市（＝西脇市）が策定
- 共生ビジョン会議を設置 → 意見を反映
- 掲載事項
  - ・ 定住自立圏の名称・将来像
  - ・ 協定に基づく具体的な取組内容





# 北はりま定住自立圏構想の概要

## 形成協定の概要（平成28年1月20日変更）

### 生活機能の強化

#### 医療

- ・拠点病院の機能強化、医療施設の整備・充実
- ・圏域内の医療施設の機能分担・連携強化
- ・地域医療を守り、支える体制の確立

#### 福祉

- ・認定審査会業務の共同実施
- ・互いに支え合う地域福祉体制の充実

#### 教育・文化

- ・施設の相互利活用、交流イベント等の促進

#### 産業振興

- ・地元農産物の活用・ブランド化、消費拡大
- ・野生鳥獣の被害防止、有効活用

#### その他

- ・ごみ・斎場業務の共同実施
- ・防災体制の強化、地域防災力の向上
- ・上下水道業務の強化

### 結びつきやネットワークの強化

#### 公共交通

- ・バス交通ネットワークの維持・強化
- ・コミバスの利便性の向上

#### 道路等の整備

- ・国道427号等の整備促進

#### 地産地消

- ・学校給食の地産地消の推進

#### 住民交流

- ・多様な地域資源の発掘と活用
- ・移住定住の促進

#### その他

- ・木質バイオマス等の環境・エネルギー対策
- ・住民相談窓口の相互利用

### 圏域マネジメント能力の強化

#### 人材の育成及び確保

- ・圏域の政策形成や事業推進を担う職員の育成
- ・職員研修の合同実施、人事交流の検討

### 3 圏域の現状 について

---

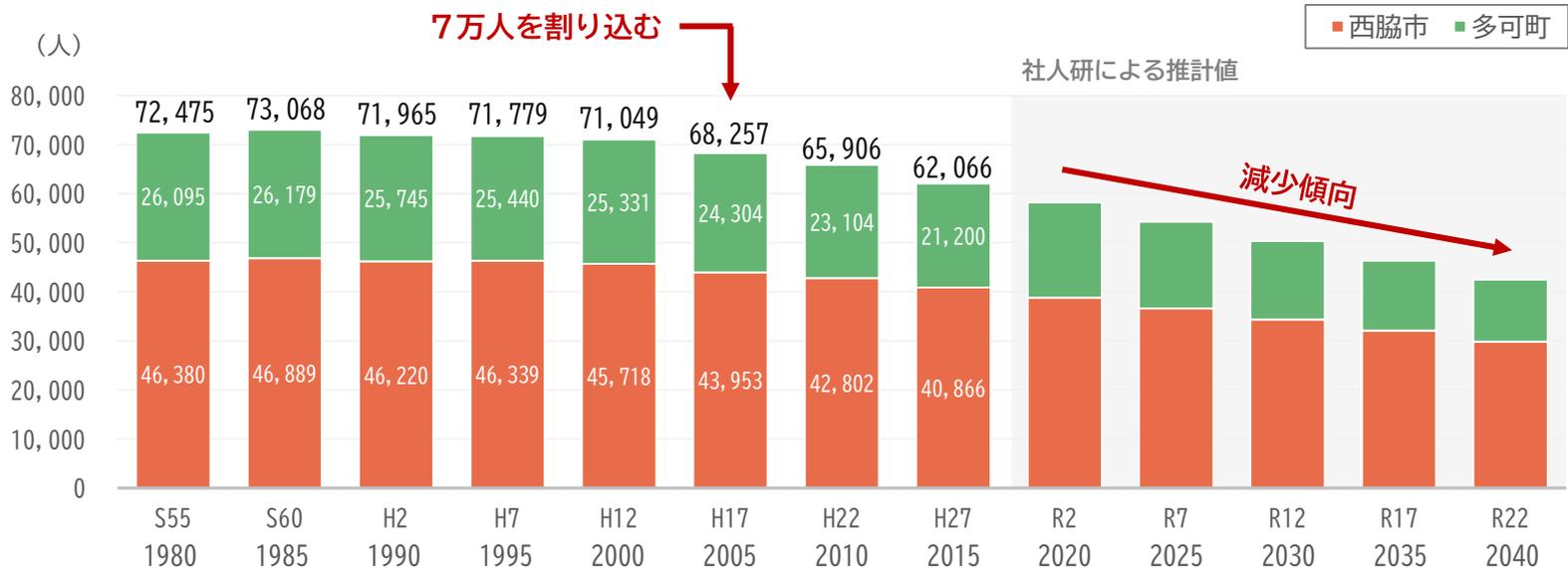




# ■ 圏域の現状／人口

- 圏域の人口（国勢調査）は、昭和35（1960）年の79,835人をピークに、その後は72,000人前後で横ばいで推移していました。しかし、平成17（2005）年に68,257人と7万人を割り込んで以降、人口減少が加速しており、平成27（2015）年には62,066人となっています。
- 西脇市では平成7（1995）年までは46,000人台でおおむね横ばいで推移。以降は減少傾向に転じ、平成27（2015）年では40,866人となっています。多可町では昭和60（1985）年から緩やかに減少。平成12（2000）年以降は減少幅が大きくなっており、平成27（2015）年では21,200人となっています。
- 我が国全体の人口が減少する中、本圏域においては自然増減、社会増減ともにマイナスとなっており、平成17（2005）年以降の減少率は大きく、今後も減少傾向が続くことが予測されます。

### 市町別人口の推移・推計



出典：国勢調査（～H27）、国立社会保障人口問題研究所推計（R2～）

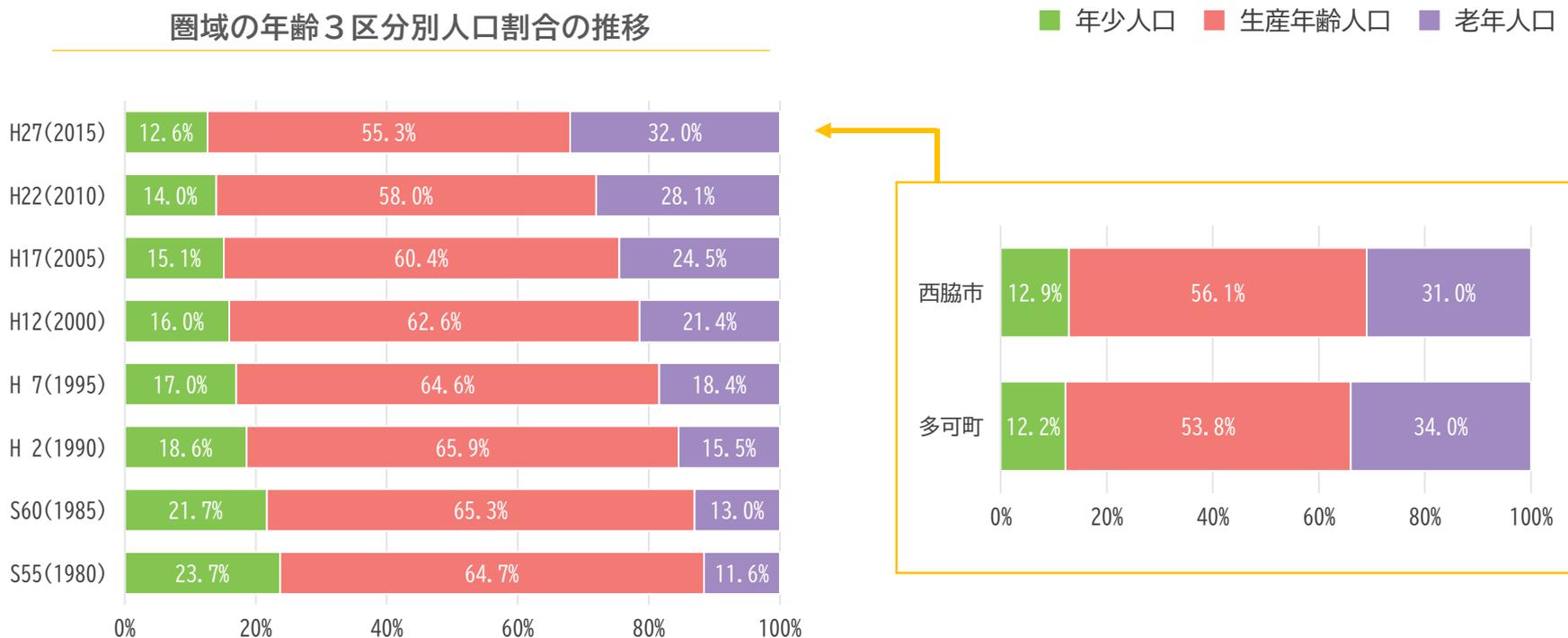
※西脇市にあつてはH12以降、多可町にあつてはH17以前は合併前の市町の人口の合計

# ■ 圏域の現状／高齢化率



- 圏域の年齢3区分別人口は、全国的な傾向と同様、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の割合が減少する一方で、老年人口（65歳以上）の割合が増加しています。
- 平成7（1995）年に老年人口が年少人口を上回って以降その差は拡大を続けており、平成27（2015）年の高齢化率は32%となっています。
- 平成27（2015）年と平成17（2005）年を比較すると、年少人口では2.5ポイント、生産年齢人口では5.1ポイント低下しており、近年は減少幅が大きくなっています。
- また、市町別の高齢化率は、西脇市は31.0%、多可町は34.0%となっており、兵庫県全体の26.8%を大きく上回っています。

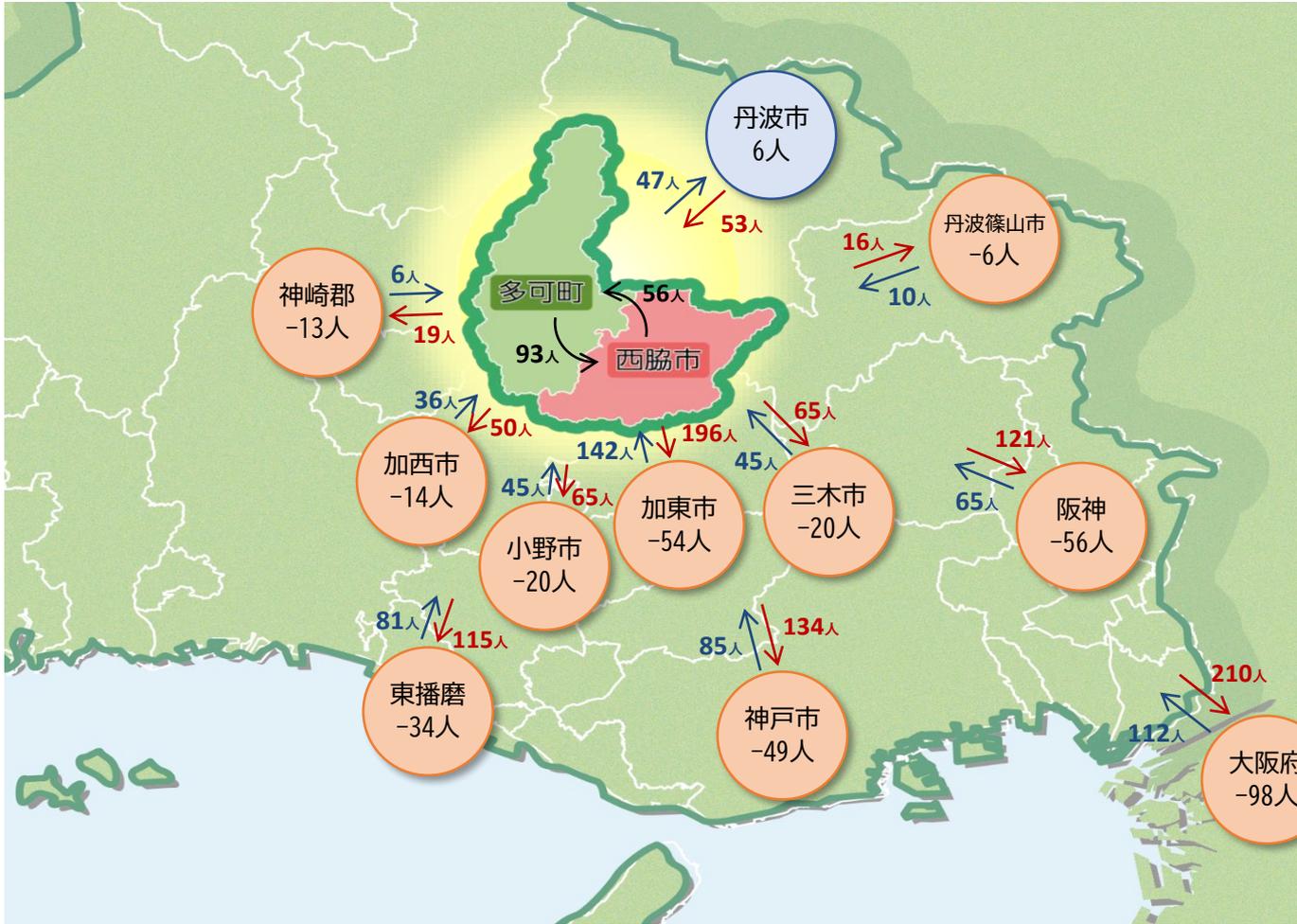
圏域の年齢3区分別人口割合の推移





# ■ 圏域の現状／人口動態（純移動の状況）

- 関東や大阪府、神戸市、阪神など、京阪神都市部への転出超過が多くなっています。
- 近隣では、加東市への転出超過が多くなっている一方で、丹波市からは転入超過となっています。



阪神	尼崎、西宮、芦屋、伊丹、宝塚、川西、三田、猪名川
東播磨	明石、加古川、高砂、稲美、播磨

## 4 第2次共生ビジョンの検証

---



# 第2次共生ビジョンの検証/圏域の将来像に係る目標



## ■ 圏域の将来目標人口

	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和2年 (2020) 実績	備考
西脇市	42,377人	41,185人	40,132人	R2.4.1住基人口
多可町	21,858人	20,507人	19,581人	R2.4.1兵庫県推計人口
圏域計	64,235人	61,692人	59,713人	※目標値は各市町が策定した人口ビジョンの将来目標人口を引用

## ■ 圏域の高齢化率

	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和2年 (2020) 実績	備考
西脇市	30.1%	31.7%	32.8%	R2.4.1住基
多可町	33.6%	36.9%	36.2%	R2.4.1住基

※目標値は、各市町が策定した人口ビジョンの将来目標人口に基づく高齢化率を引用

## ■ 圏域の昼間人口（国勢調査）

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	備考
西脇市	1.006	0.952	平成22年国勢調査における昼夜間人口比率を維持 ※昼夜間人口比率：夜間人口100人当たりの昼間の人口の比率
多可町	0.884	0.901	
圏域計	0.963	0.934	

## ■ 第2次共生ビジョンの検証

- 連携の視点：生活機能の強化・結びつきやネットワークの強化・圏域マネジメント能力の強化
- 政策分野：11分野



- 全41事業に対し、KPI（重要業績評価指標）を32件設定している。
- これらを進捗状況に応じて、基準値を基本に、目標値を踏まえて、次のように分類した。



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移

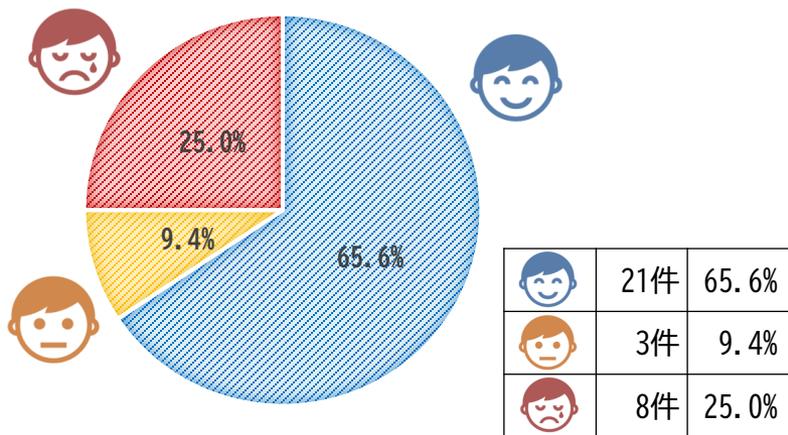


望ましくない方向へ推移

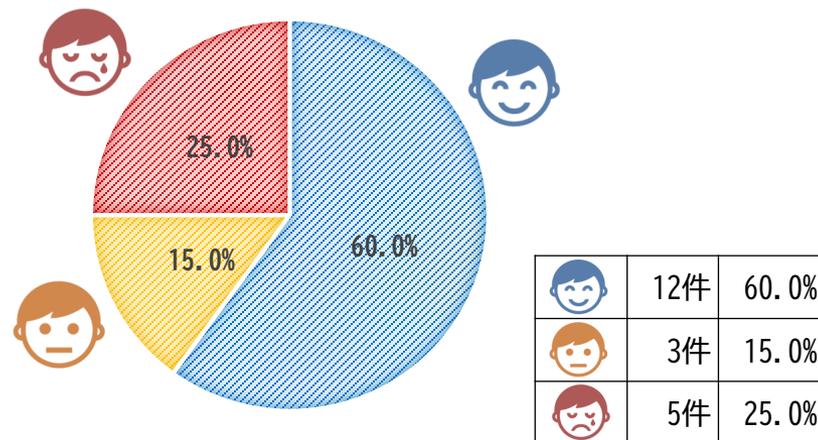
# 第2次共生ビジョンの検証



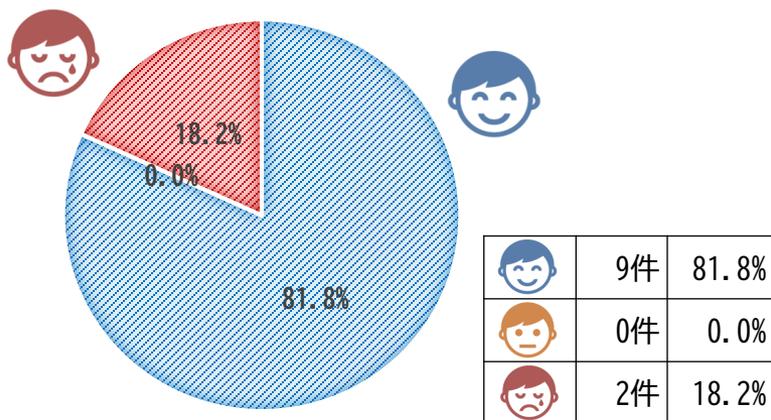
## 全 体



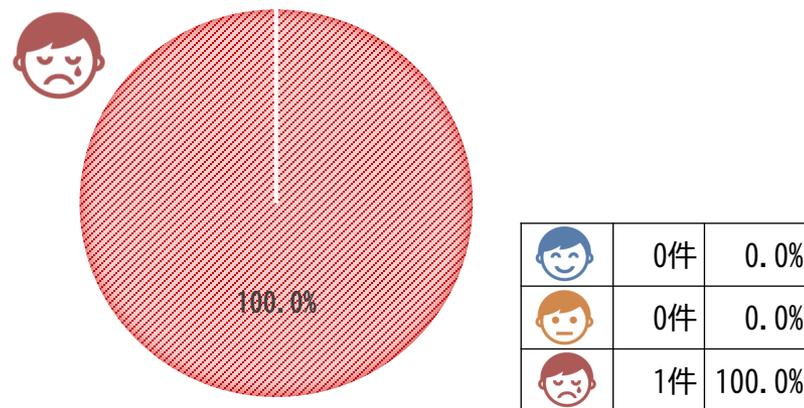
## 生活機能の強化



## 結びつきやネットワークの強化



## 圏域マネジメント能力の強化



目標達成・70%以上達成

望ましい方向へ推移

望ましくない方向へ推移

# ■ 第2次共生ビジョンの検証（主な取組）



## 医療・福祉

### ● 周産期機能の強化

- 分娩監視装置、超音波診断装置、搬送用保育器などの整備
- 周産期関連機器の導入（診察台の整備など）

### ● 脳卒中センターの強化

- 西脇病院MRI棟稼働
- 2方向高性能アンギオ導入



H26.10に新設した3.0ステラMRI

### ● 地域福祉体制の強化

- 高齢者の見守り活動の実施（あんしんはーとねっと事業）
- 虐待防止プログラムの共同開催（広域）

# 第2次共生ビジョンの検証（主な取組）



## 教育・文化

### ● 文化・スポーツ活動の振興

- 西脇多可新人高校駅伝の共同開催
- 図書館の相互利用の推進（広域）
- グラウンド・ゴルフ大会の開催（広域）



## 観光・交流

### ● 観光・交流事業の実施

- バスツアーの実施（北はりま田園空間博物館）
- 北はりまサイクリングマップの作成（広域）
- 北播磨トレッキングガイドブックの作成（広域）
- 移住・定住フォーラムの共同開催



# 第2次共生ビジョンの検証（主な取組）



## 生活

### ● 新ごみ処理施設整備に関する基本合意



### ● 火葬及び葬儀業務の連携

- 火葬炉大規模修繕
- 第2駐車場の外灯整備、第3駐車場の整備



### ● 消費生活相談の相互利用の実施

# 第2次共生ビジョンの検証（主な取組）



## 交通

### ● 道路等の交通インフラの整備

- 日野北バイパスの整備
- 鍛冶屋線メモリアルイベントの開催



## 人材育成

### ● 両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）の実施



# 第2次共生ビジョンの体系



## 形成協定の概要（平成28年1月20日変更）

### 生活機能の強化

#### 医療

- ・拠点病院の機能強化、医療施設の整備・充実
- ・圏域内の医療施設の機能分担・連携強化
- ・地域医療を守り、支える体制の確立

#### 福祉

- ・認定審査会業務の共同実施
- ・互いに支え合う地域福祉体制の充実

#### 教育・文化

- ・施設の相互利活用、交流イベント等の促進

#### 産業振興

- ・地元農産物の活用・ブランド化、消費拡大
- ・野生鳥獣の被害防止、有効活用

#### その他

- ・ごみ・斎場業務の共同実施
- ・防災体制の強化、地域防災力の向上
- ・上下水道業務の強化

### 結びつきやネットワークの強化

#### 公共交通

- ・バス交通ネットワークの維持・強化
- ・コミバスの利便性の向上

#### 道路等の整備

- ・国道427号等の整備促進

#### 地産地消

- ・学校給食の地産地消の推進

#### 住民交流

- ・多様な地域資源の発掘と活用
- ・移住定住の促進

#### その他

- ・木質バイオマス等の環境・エネルギー対策
- ・住民相談窓口の相互利用

### 圏域マネジメント能力の強化

#### 人材の育成及び確保

- ・圏域の政策形成や事業推進を担う職員の育成
- ・職員研修の合同実施、人事交流の検討



連携の視点

生活機能の強化

連携の視点

政策分野

医療

政策分野

施策に基づく具体的な事業と事業の評価・今後の方針

### 事業内容

施策名

#### ▶ 医療体制の確保

- 1 医療機能強化事業
- 2 医療従事者確保対策事業
- 3 地域医療施設整備事業
- 4 休日急患センター運営事業

評価	方針
A	継続
A	継続
D	継続
A	継続

### これまでの主な取組

第2次共生ビジョンの期間における  
主な取組内容をご紹介します

#### 【評価】

- A：想定どおり（想定以上）の成果（効果）が得られた
- B：おおむね想定どおり（7割以上）の成果（効果）が得られた
- C：不十分であるが一部において成果（効果）が得られた
- D：現段階では成果（効果）が得られていない・未実施

### KPI（重要業績評価指標）

基準値(H27)

目標値(R1)

実績値(R1)

評価

西脇病院の救急受入件数（件）

7,239

7,650

7,063



西脇 施策に対するKPI（重要業績評価指標）を定めています

65

67



休日急患センターの受診患者数（人）

503

500

364



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

医療

## 事業内容

### 医療体制の確保

	評価	方針
1 医療機能強化事業	B	継続
2 医療従事者確保対策事業	A	継続
3 地域医療施設整備事業	D	継続
4 休日急患センター運営事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・周産期機能の強化（診察台の整備など）
- ・脳卒中センターの機能強化（2方向高性能アンギオの導入など）
- ・医療従事者の確保、職場環境の改善（奨学金貸与制度、就職説明会の開催、あおぞら保育園の開設など）
- ・地域医療施設の整備を促進する助成制度
- ・西脇市多可郡医師会の協力のもと、休日急患センターを運営（負担金の拠出）

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
西脇病院の救急受入件数（件）	7,239	7,650	7,063	
西脇病院の医師人数（人）	59	65	67	
休日急患センターの受診患者数（人）	503	500	364	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

医療

## 事業内容

### 医療連携の強化

	評価	方針
5 病診連携推進事業	A	継続
6 病病連携推進事業	A	継続
7 へき地医療拠点病院事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・ 医師の派遣（西脇病院⇄多可赤十字病院）  
（皮膚科医師、透析指導）
- ・ 連携パス協議の実施  
（地域連携クリティカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進）
- ・ 地域医療連携システム（第2段階）の運用
- ・ 代診医の派遣（西脇病院から多可町立診療所）

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
西脇病院における患者紹介率（%）	65.5	67.5	65.3	
西脇病院における患者逆紹介率（%）	60.1	61.5	70.5	
北はりま絆ネット同意書数（件）	433	510	850	
多可町立診療所への医師派遣回数（回）	8	8	29	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

医療

## 事業内容

### ▶ 地域医療を守る体制の確立

	評価	方針
8 地域医療を守る住民活動の支援	A	継続

## これまでの主な取組

- ・西脇小児医療を守る会の活動支援  
(教育委員会や児童福祉部門との連携・協力)
- ・病院ボランティアの受入れ  
(西脇病院・多可赤十字病院)
- ・地域医療を守る取組の周知啓発  
(アスパル母子事業)

## KPI (重要業績評価指標)

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
西脇病院フェスタ・市民フォーラム 参加者数 (人)	2,300	2,400	2,600	



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

生活機能の強化

政策分野

福祉

## 事業内容

### 認定審査会業務の連携

	評価	方針
9 介護認定審査会事業	A	継続
10 障害認定審査会事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・ 障害認定審査会の運営  
(西脇多可行政事務組合に負担金を拠出)  
(年間約200回開催、約4,000件審査)
- ・ 介護認定審査会の運営  
(西脇多可行政事務組合に負担金を拠出)  
(年間12回開催、約100件審査)

## KPI (重要業績評価指標)

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
介護認定審査会の開催回数 (回)	207	207	191	
障害認定審査会の開催回数 (回)	12	12	12	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移



## 事業内容

### ▶ 地域福祉体制の強化

	評価	方針
11 高齢者等の見守り事業	A	継続
12 メンタルヘルス相談事業	C	廃止
13 子育て支援事業	B	継続

## これまでの主な取組

- ・見守り活動の実施（あんしんはーとねっと事業）
- ・見守りの啓発活動（のぼり旗、横断幕等の掲示）の実施、協力事業者の募集、研修会、情報伝達訓練等の実施
- ・メンタルヘルス相談事業の共同実施
- ・子育て支援事業に関する職員の合同研修
- ・未就学児の親子を対象とした事業の共同実施
- ・圏域内で異動があった要支援家庭の支援の実施（情報共有、同行訪問等）

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
協力事業者からの相談件数（件）	31	84	89	
メンタルヘルス相談件数（件）	18	36	24	



# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

教育・文化

## 事業内容

### 文化・スポーツ活動の振興

	評価	方針
14 文化・スポーツイベント交流事業	B	継続

## これまでの主な取組

- ・連絡協議会の運営
- ・文化・スポーツイベント等の相互情報発信
- ・西脇多可新人高校駅伝の共同開催  
(市民参加型イベントへの移行。圏域住民の参加や相互交流の促進)  
(1地域1校応援等の地域連携の推進)

## KPI (重要業績評価指標)

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
西脇多可新人高校駅伝競走大会参加チーム・観客等大会規模 (チーム)	120	140	135	
西脇多可新人高校駅伝競走大会参加チーム・観客等大会規模 (人)	10,000	12,000	9,000	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

生活機能の強化

政策分野

教育・文化

## 事業内容

### 文化財の保護及び利活用

	評価	方針
15 文化財企画展開催事業	B	継続
16 文化財保存活用研究事業	B	継続

## これまでの主な取組

- ・歴史遺産展の共同開催に向けた検討会の開催
- ・巡回共同企画展「西脇・多可の古代」の開催
- ・文化財等の情報共有
- ・指定文化財一覧表の更新

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
共同企画展の来館者数（人）	1,297	1,400	892	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

産業振興

## 事業内容

### 農業の振興

	評価	方針
17 地域ブランド普及開発推進事業	B	継続
18 担い手育成対策事業	B	継続
19 農産物直売所運営事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・地元農産物を活用した特産品の開発及びPR
- ・農業祭、黒田庄畜産共進会、兵庫県畜産共進会の実施支援
- ・多可町ふれあいまつりの開催
- ・認定農業者や集落営農組織等を対象とする研修会の開催
- ・農業用ハウス建設等の支援等
- ・農産物直売所の指定管理者による運営
- ・農産物生産に係る実技研修会の開催

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
認定農業者等を対象とした研修会等の開催回数（回）	3	3	1	
北はりま旬菜館での圏域出荷者の売上額（千円）	72,700	76,700	101,730	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

産業振興

## 事業内容

### 鳥獣被害防止対策の推進

	評価	方針
20 食肉処理加工施設整備運営事業	B	統合
21 捕獲鳥獣有効活用事業	C	継続

## これまでの主な取組

- ・食肉加工施設へのシカの搬入
- ・有害鳥獣（シカ）の加工、販売
- ・食肉加工施設の運営（現在休止中）
- ・ひょうごニホンジカ推進ネットワークへの加入（すでに脱退）

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
食肉処理加工施設への搬入頭数（頭）	16	25	30	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

その他

## 事業内容

### ▶ 地域防災力の向上

	評価	方針
22 消防・防災危機管理体制の整備検討	B	継続
23 水位監視対策事業	C	継続

## これまでの主な取組

- ・ 消防無線のデジタル化を踏まえた消防サイレンの吹鳴や圏域内の情報伝達体制のあり方に関する検討の実施
- ・ 消防サイレンの整備（完了）
- ・ 河川監視用カメラや水位観測所の設置に関する要望活動の実施
- ・ 水位計測表示・雨量計の整備に関する協議

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
検討会の開催回数（回）	2	2	2	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

生活機能の強化

政策分野

その他

## 事業内容

### ▶ ごみ処理業務の連携

	評価	方針
24 ごみ処理事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、ごみの再資源化等の実施（負担金の拠出）
- ・新ごみ処理施設整備に関する基本合意

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
生活系可燃ごみの年間排出量（トン）	9,047	8,940	8,897	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

その他

## 事業内容

### 火葬及び葬儀業務の連携

	評価	方針
25 広域斎場駐車場増設事業	A	完了
26 広域斎場管理運営事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・広域斎場第3駐車場の整備
- ・広域斎場第2駐車場の外灯整備
- ・圏域の火葬・葬儀業務の実施（負担金の拠出）
- ・定期的な保守点検・整備の実施
- ・火葬炉大規模修繕の実施

## KPI

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
西脇多可広域斎場「やすらぎ苑」葬祭場の利用件数（件）	400	420	409	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

生活機能の強化

政策分野

その他

## 事業内容

### ▶ 上下水道業務の連携

	評価	方針
27 上下水道基盤強化事業	B	継続

## これまでの主な取組

- ・相互配水連絡管の整備に関する検討
- ・配水区域界における給水に関する検討
- ・メーターの共同購入

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
検討会議での協議項目数（累計・項目）	—	3	3	

# 第2次共生ビジョンの体系



## 形成協定の概要（平成28年1月20日変更）

### 生活機能の強化

#### 医療

- ・拠点病院の機能強化、医療施設の整備・充実
- ・圏域内の医療施設の機能分担・連携強化
- ・地域医療を守り、支える体制の確立

#### 福祉

- ・認定審査会業務の共同実施
- ・互いに支え合う地域福祉体制の充実

#### 教育・文化

- ・施設の相互利活用、交流イベント等の促進

#### 産業振興

- ・地元農産物の活用・ブランド化、消費拡大
- ・野生鳥獣の被害防止、有効活用

#### その他

- ・ごみ・斎場業務の共同実施
- ・防災体制の強化、地域防災力の向上
- ・上下水道業務の強化

### 結びつきやネットワークの強化

#### 公共交通

- ・バス交通ネットワークの維持・強化
- ・コミバスの利便性の向上

#### 道路等の整備

- ・国道427号等の整備促進

#### 地産地消

- ・学校給食の地産地消の推進

#### 住民交流

- ・多様な地域資源の発掘と活用
- ・移住定住の促進

#### その他

- ・木質バイオマス等の環境・エネルギー対策
- ・住民相談窓口の相互利用

### 圏域マネジメント能力の強化

#### 人材の育成及び確保

- ・圏域の政策形成や事業推進を担う職員の育成
- ・職員研修の合同実施、人事交流の検討

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

結びつきやネットワークの強化

政策分野

地域公共交通

## 事業内容

### ▶ 地域公共交通ネットワークの維持及び強化

	評価	方針
28 コミュニティバス運行事業	A	継続
29 地方バス等公共交通維持確保対策事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・市町間及び各市町内を運行するコミュニティバスの運行
- ・地域公共交通網形成計画の策定
- ・コミュニティバスの再編に向けた検討
- ・両市町間を接続する路線バス等に対する運行経費の補助

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
コミュニティバスの利用者数（人）	51,269	58,000	56,382	
補助対象路線バスの利用者数（人）	71,989	79,000	145,783	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

結びつきやネットワークの強化

政策分野

道路等の交通インフラの整備

## 事業内容

### 幹線道路の整備

	評価	方針
30 国道427号整備促進事業	B	継続
31 J R鍛冶屋線跡地道路整備促進事業	A	完了

## これまでの主な取組

- ・期成同盟会による要望活動の実施
- ・国道427号の整備促進
- ・日野北バイパスの整備（完了）
- ・鍛冶屋線メモリアルイベントの開催

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
要望活動実施回数（回）	1	1	2	



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

結びつきやネットワークの強化

政策分野

地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

## 事業内容

### ▶ 学校給食の地産地消の推進

	評価	方針
32 学校給食地産地消推進事業	B	継続

## これまでの主な取組

- ・圏域内での食材供給システムの構築や、地元農産物を活用した給食献立などに関する情報交換

## KPI (重要業績評価指標)

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
連絡会議の開催回数 (回)	1	1	1	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

結びつきやネットワークの強化

政策分野

地域内外の住民との交流・移住促進

## 事業内容

### ▶ 地域資源の活用による交流・移住の促進

	評価	方針
33 北はりま田園空間博物館事業	B	継続
34 北はりまハイランド構想推進事業	B	統合
35 市民農園運営事業	B	継続
36 結婚活動促進事業	C	継続
37 移住・定住促進事業	A	継続

## これまでの主な取組

- ・ NPO法人北はりま田園空間博物館の活動支援
- ・ 重点道の駅に向けた検討
- ・ 北はりまハイランドのホームページリニューアル、北はりまハイランドマップの作成・配付
- ・ 圏域での交流・移住の促進、情報発信などの活動に対する支援
- ・ 滞在型市民農園の管理運営
- ・ 出会いの機会を創出するイベントの開催
- ・ 東京圏でのネットワーク形成に向けた交流事業の実施
- ・ 都市部での移住相談や古民家ツアーの実施

## KPI (重要業績評価指標)

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
圏域観光入込客数 (千人)	2,420	2,569	2,304	
婚活パーティーにおけるカップル成立数 (組)	18	25	11	
市町施策を通じた市内、町内定着者数 (累計・人)	19	106	257	

# 第2次共生ビジョンの検証



連携の視点

結びつきやネットワークの強化

政策分野

その他

## 事業内容

### 環境・エネルギー対策の推進

	評価	方針
38 木質バイオマスエネルギー利用促進事業	B	継続
39 再生可能エネルギー導入推進事業	A	継続

## これまでの主な取組

- 安定した間伐材の確保  
(北はりま森林組合等との調整)
- チップボイラーの民間普及に向けた情報発信
- 木質チップ工場の運営(生産効率の向上)
- 既存公共施設への再生可能エネルギーの導入
- 民間住宅への再生可能エネルギーを活用する設備の導入支援
- 遊休地での太陽光発電施設の整備、運用

## KPI (重要業績評価指標)

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
木質バイオマス搬入量(トン)	860	3,500	3,200	
公共施設等への太陽光発電等の導入数(累計・施設数)	21	25	24	
家庭への太陽光発電(10kw未満)の導入数(累計・件数)	1,229	1,485	1,514	

目標達成・70%以上達成

望ましい方向へ推移

望ましくない方向へ推移



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

結びつきやネットワークの強化

政策分野

その他

## 事業内容

### ▶ 住民相談窓口の相互利用

	評価	方針
40 消費生活・多重債務相談窓口の相互利用の推進	A	継続

## これまでの主な取組

- ・消費生活相談の相互利用の実施
- ・事例の情報共有
- ・啓発資材の共同制作の実施

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
消費生活・多重債務相談窓口の相互利用可能日数（日）	240	240	240	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移

# 第2次共生ビジョンの体系



## 形成協定の概要（平成28年1月20日変更）

### 生活機能の強化

#### 医療

- ・拠点病院の機能強化、医療施設の整備・充実
- ・圏域内の医療施設の機能分担・連携強化
- ・地域医療を守り、支える体制の確立

#### 福祉

- ・認定審査会業務の共同実施
- ・互いに支え合う地域福祉体制の充実

#### 教育・文化

- ・施設の相互利活用、交流イベント等の促進

#### 産業振興

- ・地元農産物の活用・ブランド化、消費拡大
- ・野生鳥獣の被害防止、有効活用

#### その他

- ・ごみ・斎場業務の共同実施
- ・防災体制の強化、地域防災力の向上
- ・上下水道業務の強化

### 結びつきやネットワークの強化

#### 公共交通

- ・バス交通ネットワークの維持・強化
- ・コミバスの利便性の向上

#### 道路等の整備

- ・国道427号等の整備促進

#### 地産地消

- ・学校給食の地産地消の推進

#### 住民交流

- ・多様な地域資源の発掘と活用
- ・移住定住の促進

#### その他

- ・木質バイオマス等の環境・エネルギー対策
- ・住民相談窓口の相互利用

### 圏域マネジメント能力の強化

#### 人材の育成及び確保

- ・圏域の政策形成や事業推進を担う職員の育成
- ・職員研修の合同実施、人事交流の検討



# 第2次共生ビジョンの検証

連携の視点

圏域マネジメント能力の強化

政策分野

人材の育成及び確保

## 事業内容

### 人材の育成及び確保

	評価	方針
41 職員人材育成・確保事業	B	継続

## これまでの主な取組

- ・両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）の実施
- ・人事交流等の研究、先進地事例調査の実施

## KPI（重要業績評価指標）

	基準値(H27)	目標値(R1)	実績値(R1)	評価
合同研修の参加者数（人）	77	90	58	



目標達成・70%以上達成



望ましい方向へ推移



望ましくない方向へ推移





